

# 「れんけいレポート」

～地域連携室報告～

発行：河内長野市医師会 (TEL 0721-54-1700)

平成 28 (2016) 年 5 月・第 7 号

◎河内長野市医師会ホームページ上に地域連携室コーナーがアップ!!

トップページ右側の地域連携室 (橙色) をクリック⇒当室の説明、「かわちながの連携シート」、「れんけいレポート」(4月号迄)が見られる仕組みになっている。一度、ご覧頂きたい。

◇河内長野市等との懇談：4月7日(木)、4月12日(火)、4月13日(水)、4月20日(水)、総合政策部や保健福祉部の担当者と喫緊課題等について協議。「まちの保健室」やブルーカードシステム導入についてなど。4月13日(水)には、さわやか福祉財団(堀田 力会長)の担当者と懇談。

□「大阪府在宅医療連携拠点支援事業実績報告会」：3月26日(土)開催(於・大阪府医師会館)

同事業の平成27年度実績報告(9地区医師会)の他、今後の在宅医療推進事業に関する展望等についての講演があった。また、今回特に大阪府からは、健康医療部だけでなく福祉部の担当者も来会して、大阪府における「在宅医療・介護連携推進事業」の取り組み状況の説明があり、今後の事業展開に向けた期待感が示された。

□「バリアフリー・慢性期医療展・看護未来展2016」：4月21日(木)～23日(土)開催

今年も南港のインテックス大阪で、高齢者・障害者ための総合福祉展が開催。今回から、「看護サービスの新しいステージを目指す」をテーマに、看護未来展が併設され、各種講演等が行われた。大阪府訪問看護ステーション協会のブースでは、レトルトの栄養食品等の配布があった。

◎大阪府在宅医療推進事業補助金事業(在宅医療推進コーディネータ事業)⇒事務局：大阪府医師会

平成27年度実績報告書(本会における)を提出⇒在宅医療体制の確保、充実を目指すべく、在宅医療に関するアンケート・聞き取り調査を実施し、課題抽出を行った。その結果、休日夜間における急変時対応システム、即ちブルーカードシステムの必要性がクローズアップされた。また、医師・訪問看護師間をはじめ多職種連携ツールとして、「かわちながの連携シート」を作成し、配布したなど。

◎ブルーカードシステム導入に向けた病院訪問(ご挨拶)：4月11日(月)以降順次実施

ブルーカードシステム導入に向けて、河内長野市消防本部における救急搬送先の多い病院への訪問を実施。本システムの趣旨、概要説明を行うとともに、「連携病院」・「協力病院」への参画を要請。趣旨としては、「本システムは、事前に患者情報等を登録し、連携病院を確保しておくことから始まり、救急医療の観点から、救急搬送所要時間の短縮、軽症事例におけるウォーク・イン受診の勧奨、住民の安心・安全感の醸成を目指すものである。また、地域における医療介護福祉との連携促進のための端緒として捉えられるものである」(説明資料より)としている。

## ☆【Topics】

○まちの保健室：学校に保健室があるように、地域にも「気軽に相談ができる所や居場所があるといいね」という発想から始まった。健康チェック・相談(血圧・体脂肪測定等)、在宅療養や訪問看護相談、こころの相談の他、コミュニケーションの場やネットワークづくりの場としても活用されている。主に看護職が相談業務等を担う。全国の看護協会や民間医療機関による設置が多い。